

--	--	--	--	--

コンパクトシティの制度化進む—その実践と成功への道しるべ

# コンパクトな都市づくりへのチャレンジ

～交通政策基本法以後の自治体の新たな交通政策を構築する～

- 地域活力創造のための都市・交通計画とコンパクトシティ戦略
- 次世代都市交通とネットワーク型コンパクトシティの形成政策・計画
- いかにか地域公共交通制度を使いこなすか—「やりたいことをやる」のススメ
- 普通の都市・旭川市にみるコンパクトシティづくりへの模索

2014年12月4日(木) 9:45～16:55 剛堂会館・会議室 (東京・千代田区)

- 【講師陣】
- 森本 章倫 氏 / 早稲田大学理工学術院教授
  - 谷口 守 氏 / 筑波大学システム情報系社会工学域教授
  - 秋山 哲男 氏 / 中央大学研究開発機構教授
  - 吉田 樹 氏 / 福島大学経済経営学類准教授

国土交通省東北運輸局「地域公共交通東北仕事人」

【参加要領】

- 会場：剛堂会館・会議室  
東京都千代田区紀尾井町3-27  
TEL03-3234-7362 (案内図は申込後送付)

■ 参加費 (1名分)

	当日参加	メディア参加
行政・議員	25,000円	28,000円
一般	35,000円	38,000円

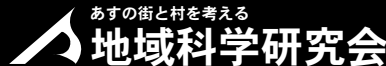
メディア参加申込の方へは研修会開催後にCD(講演音声収録)と資料及び請求書をお送り致します。当日参加で申込後にご都合が悪く欠席される場合にはメディア参加とさせていただきます。

- 支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い  
みずほ銀行麹町支店 普通1159880  
三井住友銀行麹町支店 普通7411658  
三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767  
郵便振替:00110-8-81660 口座名: 榊地域科学研究会

- 申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい (FAX・郵送・メール等)

請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします (受講証/会場地図はFAX送信)。書類が必要な方には受講証と共に郵送しますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方は当日受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

お申し込み・お問い合わせ



東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106  
TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082  
http://chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書】 FAX : 03-3234-4993 Email : machi@chiikikagaku-k.co.jp

2014年 月 日

□ 研修会『コンパクトな都市づくりへのチャレンジ』への参加

勤務先  
(請求書等宛先名)

連絡担当者

所在地〒

TEL

参加者氏名

所属部課役職名

FAX

Email

〈通信欄〉○を付けて下さい

支払方法(請求後の振込・郵便振替・当日払い)

必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)

※ご記入いただいた個人情報は、当会の活動(セミナー・出版等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。

時	講 義 内 容
9:45 ? 11:15	<p><b>次世代交通とまちづくり</b> ～ネットワーク型コンパクトシティの形成に向けて～</p> <p style="text-align: right;">早稲田大学理工学術院教授 <b>森本 章倫 氏</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人口減少社会が都市に与える影響</li> <li>2. 次世代交通と都市構造</li> <li>3. ネットワーク型コンパクトシティ</li> <li>4. 宇都宮のLRT導入計画</li> <li>5. 地域内交通と自転車ネットワーク</li> <li>6. おわりに</li> </ol> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>1989年早稲田大学大学院卒業、早稲田大学助手、宇都宮大学助手、助教授、教授、マサチューセッツ工科大学 (MIT) 研究員等を経て、現職。博士 (工学)、技術士 (建設部門)。土地利用と交通の関連性に関する研究を中心に、集約型都市、交通アクセスメント、環境に優しいまちづくり、次世代型路面電車などを多面的に調査・研究をしている。</p> </div>
11:25 ? 12:55	<p><b>コンパクトな都市づくりを再考する</b> ～交通ネットワークを踏まえたその基本・実践・課題から～</p> <p style="text-align: right;">筑波大学システム情報系社会工学域教授 <b>谷口 守 氏</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンパクトシティの基礎知識</li> <li>2. 制度化が進むコンパクトシティ</li> <li>3. 都市構造の実態から</li> <li>4. コンパクトシティにまつわる誤解</li> <li>5. 交通ネットワークを踏まえた実践と成功への道しるべ</li> <li>6. 残された課題</li> </ol> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>1989年京都大学大学院工学研究科単位修得退学。工学博士。京都大学工学部助手、カリフォルニア大客員研究員、ノルウェー王立都市地域研究所文部省在外研究員、岡山大学環境学研究科教授等を経て現職。専門は都市計画、交通計画、環境計画。著書に『ありふれたまちかど図鑑－住宅地から考えるコンパクトなまちづくり－』(技報堂)など。</p> </div>
13:45 ? 15:15	<p><b>地域活性化のための都市・交通計画とコンパクトシティづくり</b> ～ストラスプールの見事な都市づくりから「普通の都市・旭川市の交通計画」を模索する～</p> <p style="text-align: right;">中央大学研究開発機構教授 <b>秋山 哲男 氏</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公共交通の充実と都市開発 ～交通だけの計画ではなく総合的な都市計画が求められる～</li> <li>2. ترام (LRT) の計画とまちづくり       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 環境負荷軽減を交通計画の中に組み込む</li> <li>(2) 歴史的資産や文化の保存と活用</li> </ol> </li> <li>3. ストラスプールのまちづくり ～街を歩いて実感するストラスプールの都市づくりと交通の役割～</li> <li>4. 普通の都市・旭川市にみる交通計画の模索</li> </ol> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>明星大学修士課程修了、東京都立大学工学部土木工学科助手・講師・助教授、大学院都市科学研究科教授を経て、現職。専門は都市、交通計画、観光など。旭川市等の地方自治体の交通まちづくりや公共交通会議等に携わる。著書に『都市交通のユニバーサルデザイン』(編著、2001年、学芸出版社)、『バスはよみがえる』(編著、2000年、日本評論社)等。</p> </div>
15:25 ? 16:55	<p><b>地域公共交通から考えるまちづくりの実践</b></p> <p style="text-align: right;">福島大学経済経営学類准教授 国土交通省東北運輸局「地域公共交通東北仕事人」 <b>吉田 樹 氏</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域公共交通施策の何が問題か</li> <li>2. 地域公共交通とまちづくりの「接点」</li> <li>3. 制度を使いこなし、「やりたいことをやる」ススメ</li> <li>4. 多様な主体の連携・・・どのように築けばよいか</li> </ol> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>2007年東京都立大学大学院都市科学研究科博士課程修了。首都大学東京都市環境学部リサーチ・アシスタント、同助教を経て、2012年3月より福島大学うつくしま未来支援センター特任准教授。2013年4月より現職。専門分野は、地域交通政策。国土交通省の臨時委員として交通基本法案の検討に関わったほか、八戸市、三沢市、十和田市、北上市、山形市、武蔵野市などの公共交通政策・計画づくりに携わる。</p> </div>